ウルソデオキシコール酸

基原の項を次のように改める.

本品を乾燥したものは定量するとき，ウルソデオキシコール酸（$C_{24}H_{40}O_4$）98.5 ～ 101.0%を含む.

性状の項を次のように改める.

性 状 本品は白色の結晶又は粉末で，味は苦い.
本品はメタノール，エタノール（99.5）又は酢酸（100）に溶けやすく，水にほとんど溶けない.

確認試験の項を次のように改める.

確認試験 本品につき，赤外吸収スペクトル測定法〈*2.25*〉の臭化カリウム錠剤法により試験を行い，本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき，両者のスペクトルは同一波数のところに同様の強度の吸収を認める.

純度試験の項を次のように改める.

純度試験
（**1**） 硫酸塩〈*1.14*〉 本品 2.0 g に酢酸（100）20 mL を加え，振り混ぜて溶かし，水を加えて 200 mL とし，よく振り混ぜ，10 分間放置する．この液をろ過し，初めのろ液 10 mL を除き，次のろ液を試料溶液とする．試料溶液 40 mL に希塩酸 1 mL 及び水を加えて 50 mL とする．これを検液とし，試験を行う．比較液は 0.005 mol/L 硫酸 0.40 mL に酢酸（100）4 mL，希塩酸 1 mL 及び水を加えて 50 mL とする（0.048%以下）.
（**2**） 重金属〈*1.07*〉 本品 1.0 g をとり，第 2 法により操作し，試験を行う．比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える（20 ppm 以下）.
（**3**） バリウム 本品 2.0 g に水 100 mL 及び塩酸 2 mL を加え，2 分間煮沸し，冷後，ろ過し，ろ液が 100 mL になるまで水で洗う．この液 10 mL に希硫酸 1 mL を加えるとき，液は混濁しない.
（**4**） 類縁物質 本品 0.10 g をとり，メタノール 1 mL に溶かし，アセトンを加えて正確に 10 mL とし，試料溶液とする．この液 1 mL を正確に量り，アセトンを加えて正確に 100 mL とする．この液 1 mL 及び 2 mL を正確に量り，それぞれアセトンを加えて正確に 20 mL とし，標準溶液（A）及び標準溶液（B）とする．別に薄層クロマトグラフィー用ケノデオキシコール酸 50 mg をとり，メタノール 5 mL に溶かし，アセトンを加えて正確に 50 mL とする．この液 2 mL を正確に量り，アセトンを加えて正確に 20 mL とし標準溶液（1）とする．更に薄層クロマトグラフィー用リトコール酸 25 mg をとり，メタノール 5 mL に溶かし，アセトンを加えて正確に 50 mL とする．この液 2 mL を正確に量り，アセトンを加えて正確に 20 mL とする．この液 2 mL を正確に量り，アセトンを加えて正確に 10 mL とし，標準溶液（2）とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液，標準溶液（1），標準溶液（2），標準溶液（A）及び標準溶液（B）10 μL ずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次にイソオクタン/エタノール（99.5）/酢酸エチル/酢酸（100）混液（10：6：3：1）を展開溶媒として約 15cm 展開した後，薄層板を風乾する．更に 120℃で 30 分間乾燥後，直ちに，リンモリブデン酸 *n* 水和物 5 g をエタノール（99.5）約 50 mL に溶かして，硫酸 5 mL を滴下し，更にエタノール（99.5）を加えて 100 mL とした液を均等に噴霧し，120℃で 3 ～ 5 分間加熱するとき，標準溶液（1）及び標準溶液（2）から得たスポットに対応する位置の試料溶液から得たスポットは，標準溶液（1）及び標準溶液（2）のスポットより濃くなく，試料溶液から得た主スポット及び上記のスポット以外のスポットは，標準溶液（B）から得たスポットより濃くない．また，試料溶液から得た主スポット及び上記のスポット以外のスポットは，標準溶液（A）及び標準溶液（B）から得たスポットと比較して総量を求めるとき，0.25%以下である.

定量法の項を次のように改める.

定 量 法 本品を乾燥し，その約 0.5 g を精密に量り，エタノール（95）40 mL 及び水 20 mL に溶かし，0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液で滴定〈*2.50*〉する（電位差滴定法）．同様の方法で空試験を行い，補正する.

0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 1 mL ＝ 39.26 mg $C_{24}H_{40}O_4$